

2023年 安全衛生推進計画

1. 基本方針 安全絶対優先の基本理念のもと、王子グループ全体の災害ゼロを目指した活動に邁進する
2. スローガン 《死亡・重篤災害を起こさないために 決めた安全ルールを確実に守り守らせること！》
3. 重点目標 王子グループ全体目標：死亡・重篤災害ゼロの達成
4. 重点施策

王子グループでは、2022年（10月末現在）、国内でフォークリフト・重機による死亡災害2件、海外で業務上交通死亡災害が1件発生し、3名の尊い命が失われている。また、58件（昨年59件）の休業災害が発生し、昨年より掲げている安全大原則や職場の安全ルールを守らなかった事例は27件（昨年30件）発生している。

ルールを守ることは企業活動の根幹だが、約半数がルールを守らずに発生していることから、今年も安全大原則や安全ルールを守り守らせることを掲げ、同時に、機械・設備の安全化推進を図る。あわせて、始業時の声かけ運動や安全提案活動の推進などで「自らが考える安全文化」を構築し、重点目標である「死亡・重篤災害ゼロ」の達成、休業災害件数を減少させる取り組みを展開する。

1) 安全大原則とルールの完全遵守、VR（仮想）危険体験の実施

遵守・禁止事項、非定常作業を含めた安全作業手順書を整備し、理解・習得度を確認しながら、繰り返し教育訓練を実施すること。また、VR（仮想）危険体験は、独自コンテンツなどを活用して、労働災害防止を図る。

- (1) 安全大原則とルールの完全遵守。始業前に安全大原則を唱和すること。
 - ① 回転体には手を出さず。必ず機械・設備を停止すること。
 - ② 吊荷の下に入らないこと。
 - ③ 高所作業は安全帯を着用し、使用すること。
 - ④ フォークリフトなどの荷役作業場所では、一旦立ち止まり、自分の存在を運転手へ示すこと。
- (2) VR（仮想）危険体験の実施継続ならびに、各事業場の協力会社（ユニット会社以外含）にも体験してもらう機会を設ける。
- (3) 国内の王子グループ各社（本社等を含む部署単位）・各事業場は「職場安全衛生会議」を開催してルールを周知し、参加者相互の意見交換や情報共有、議論を深め、職場の安全風土ならびに「自らが考える安全文化」を構築する。
- (4) 道路交通法や構内交通ルール遵守、危険予知・防衛運転などの交通安全啓蒙活動により、交通災害防止を図る。

2) 機械・設備の安全化推進

全員参加型のリスクアセスメントを積極的に行い、過去の災害要因を踏まえたリスクを漏れなく洗い出し、各社・各事業場トップならびに管理監督者が責任を持って、具体的かつ速やかな安全対策を計画・進捗管理し、安全部門・技術部門が連携して、労働災害の未然防止・再発防止・危険の見える化を図る。

- (1) 荷役機械（運搬車両・運搬重機・揚重機）との接触防止対策
 - ① 荷役機械作業エリアと人の作業エリアの分離、標識、柵や照明の設置
- (2) 回転体等の接触・近傍作業に伴う機械・設備の安全対策
 - ① 安全柵やカバー、機械的ストッパー等の安全装置の設置
- (3) 墜落・転落、転倒防止対策
 - ① 安全な足場・仮設足場の設置。防網や親網設備等の墜落・転落防止措置と安全帯等の使用
 - ② 通路・作業場の凹凸や段差箇所、凍結路面を放置しない。安全通路や作業スペースの確保、3Sの徹底

3) 安全活動の活性化

HD安全部とカンパニー・主管会社の安全部門は、積極的に現場に出向いて、機械・設備の安全性と法令に基づく各種資格取得者の選任・教育状況の確認。加工・仕上げ及び倉庫内作業・ヤード作業における重機との接触災害に視点を置いたパトロールやエリア内に立ち入る際のルール確認。職場安全衛生会議にも参加し、類似災害防止を図る。

4) 海外グループ会社との連携強化

HD安全部とカンパニーの安全部門は、海外グループ会社の安全担当部門との情報交換、連携強化に努め、王子グループ国内の取り組みや各国の法令に準拠した安全活動の推進、平準化を図っていく。

5) 心身の健康管理および職場衛生環境の改善整備

定期健診全員受診および有所見者の二次検査・特定健診の積極的な勧奨により、健康の保持増進、疾病予防・早期発見・治療につなげる。また、ストレスチェック全員受検、過重労働による健康障害の防止、職場環境の改善整備を行う。